

## 交流，共同学習の記録

### 1 学校名，授業者名

- ・自校 大仙市立東大曲小学校 黒川 ほう子
- ・相手校 横手市立栄小学校 渡部 芳子

### 2 学年，組

- ・自校 5年
- ・相手校 5年

### 3 交流，共同学習のねらい

- ・米作り体験を通して、調べたり考えたりしたことを互いに伝え合って交流を深め、米作りへの意欲と関心を高めると共に、相手を意識した話し方などを他の学習にも生かそうとする態度を育てる。

### 4 学校外の人にTV会議システム利用を広げるねらい（必要性）

- ・学校外の支援者～田んぼを提供し、米作りの先生として教えて下さっている児童の祖母
- ・ねらい ～TV会議システムを利用した共同学習において、児童の学習意欲の向上を図り、米作りの手法について現場の生きた指導をしていただくことができる。

### 5 実際

#### (1) 教科，単元名（題材名）

- ・総合的な学習の時間 「目指せ！ 米博士」

#### (2) 本時のねらい

- ・互いの米作りの作業や稲の生長の様子を紹介し合い、さらに米作りに関する疑問などをGTに教えてもらうことによって、米作りへの興味・関心、理解を深める。

#### (3) 本時の実際

学習活動	教師（学校外の人）の支援
1．互いに、これまでやってきた米作り体験について発表し合う。	・発表する時は、相手によく分かるようにはっきり話し、聞く時には、自分たちの活動などと比較させながら聞くように、話す態度・聞く態度を指導する。
2．GTから、米作りの苦労や喜び、昔と今の作業の違いなどについてのお話を聞く。	・両校の児童が米作りに関してGTに聞きたいことを事前に調べておき、GTにお願いしておく。 ・GTのお話を聞いた後でさらに疑問に思ったことがあれば、その場で質問させる。
3．本時の活動についての振り返りをする。	・互いの発表やGTのお話を聞いての感想を発表して、今後の交流への期待を持たせる。

### 6 実践を通しての提言

- ・両校共に、総合的な学習の時間で「米」について体験学習をしており、相手校の発表を聞いて、自分たちが知らなかったことを知ったり、自分たちの発表に対する感想をもらったりすることで、学習をより深めることができた。
- ・米作りの作業時には、両校共に、家族や地域の方々に手伝っていただきながら指導を受けているが、作業中にじっくり話を聞くことはなかなかできない。そこで、今回のようにTV会議システムを通して、一緒にGTのお話を聞くことで、米作りにおける地域の違いや年代の違いを感じることができる、疑問をその場ですぐに解決できる、という点が良さだと思われる。